

八雲町見聞録

体験・活動レポート



【問い合わせ先】

八雲陶芸サークル土楽

☎0137-64-2465

(代表:桑原一博氏)

はじめまして、八雲町地域おこし協力隊の宮島・糸長・菅井です。今月から連載により隊員の体験・活動をレポートし、八雲の魅力を発信していきます。

みなさんは八雲焼をご存じですか？明治40〜43年に八雲の粘土とのぼり窯で作られた幻の陶器だそうです。この八雲発祥の陶器を知るには、まず陶芸を体験してみようということ初めてレポートは、10月1日に行われた女性の生涯学習教室である茜学級の陶芸教室に協力隊3人で参加しました。講師は「八雲陶芸サークル土楽」の宮谷義清さんです。茜学級のみなさんに交じってサラダボール作りに初挑戦。ろくろは使用せずに作業台の上でドットタンバタン？楽しくお喋りしながら陶器の形を整えるのに悪戦苦闘。しかし！焼き上がり想像して造形するのがまた面白い。陶芸は、窯から出す時にどんな色に焼きあがっているのかが一番ドキドキするそうです。今後の乾燥や焼きの作業はサークルの方がしてくれそうです。私たちの陶器はどんな色に焼きあがるのでしょうか。完成が楽しみです。



facebook



「facebook」を立ち上げました。
今回の活動も掲載しております！

八雲町地域おこし協力隊



宮島 英明



糸長 佳祐



菅井 研



ちょっと

知ってね！総合病院

私たちの知識が、
お役にたてれば嬉しいです

日本では、およそ30万人の患者さんが治療を受けております。そのうち90%の方が外来で透析を受けられていることから、社会復帰を目的とした前向きな治療であると言えます。

私たち臨床工学技士は、血液透析が安全に確実なものとなるよう透析機器の操作と点検を行い、質の高い透析医療を提供するための業務を行っております。

臨床工学技士が携わる仕事の中に血液透析があります。透析という言葉は皆さんもよく耳にするのではないのでしょうか。透析は、腎臓の働きが悪くなり血液中の老廃物を十分ろ過することができなくなり、水分や老廃物のコントロールができなくなった方に行う腎臓を補助する治療です。病院で行われている血液透析は、体内の血液を透析器という機器の中を通して老廃物を体内に戻すという治療です。完全な人工腎臓とは言えませんが、自己管理をしながら社会生活が可能となります。

『透析と
臨床工学
技士』



臨床工学技士
谷澤 伸治